

浦和東部地区元気アップネットワーク

第6回 みんなの学校づくりプロジェクト

日時 8月20日（日） 10時～12時頃

場所 浦和スポーツクラブ

1. 開会・あいさつ
2. 自己紹介 . . . 必要に応じて
3. 第5回までのおさらい
4. 基本構想たたきについて
5. 次回の予定
6. 閉会

配布資料

次第

資料—1 基本構想_たたき

過去の資料は。。。

ホームページ <https://genkiupnw.webu.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/genkiup.urawaeast/>



Facebook



ホームページ

みんなの学校準備会議（第6回）

日時：2017年8月22日 10時～12時

場所：浦和スポーツクラブ 事務所

出席：野辺、井上、斉木、竹下、千野、西澤、栃川、深水、石井、高橋、小野崎

1. あいさつ 高橋代表

2. 自己紹介

3. ふり返り

4. 協議

（1）理念や基本方針について

- ・ みんな学は地域の中で共生していくのに必要なこと
- ・ 学びたいこと、学びたい人、地域人になる、自由に提案できる
- ・ 学校は年間のカリキュラムに基づいてやっていくのが普通であり、かっちり決めておくことが必要になるが、そうすると参加者の意見が反映されにくい
- ・ 野辺さんの提案をうまくいかせるといい
- ・ 両方を考えてやっていけばいいのではないか
- ・ 最初から全部決めてしまうと方向修正もしづらくなる
- ・ 元気アップネットワークとしては、概ねの方向が決まっているからやりやすい
- ・ みんなの学校は枠が広い
- ・ 場所が確保できていることが、とても大きい
- ・ 小さい講座が生まれてくるのも楽しい
- ・ 浦スポ、おたっしや倶楽部、うらわ学園など、コンスタントに使える場所があるというのは大きい。
- ・ ふれあいの里などでも協力いただけると思う。
- ・ 基本理念に書いてある文章は方針にして、方針に書いてあるものは事業概要に、理念はもっと明快にしたほうが良い
- ・ 理念のキーワードは
 - 学びたい人が自由に参加できること
 - 誰でも教える人になれる
 - 自由、平等、支え合い（互助、共助）
 - 地域 など
- ・ **宿題！ キーワードを3つ考えてくること**

（2）事業概要について

- ・ 交流の場は副次的なものである。結果として得られるもの。
- ・ 学びの場が一番になるべき。「一緒に学ぼう」が大事
 - 伝える
 - 教える
 - 教わる

- 調べる
- 一緒に学ぶ
- 聴きたい
- 参加型は公民館の講座では、あまり見られない
- 参加者からの問題提起を活かしていく
- ・ もっと気楽に参加する場もほしい
- ・ 重たくなると参加しづらくなる
- ・ 参加者がいないと継続できない
- ・ 入口は気楽にした方がよい
- ・ テーマを出し合って徐々に絞り込んでいくのがよい
- ・ 複数の場所でいろいろな方法をとる
- ・ 参加者の意見も取り入れながら、展開を図る
- ・ 半年分くらいはプログラムを確定しておくとうい
- ・ 最初に何をするか
- ・ 対象によって変わる
- ・ 地域デビュー講座

(3) 協力・広報・連携先について

- ・ 自治会について
 - 広域の活動には関わりづらい
 - チラシなどを回覧にして、自治会ごとに依頼して協力してもらう
 - 自治会館を貸し出しているところに協力を求めることはできる
- ・ 社協について
 - コーディネーターは、地域の福祉のことで動くのが基本なので協力してもらうのがよい
 - 組織として認知されていかないと動きづらいであろう
 - まずは後援をもらうことから始める
 - うらわC A F Eは事業計画にはいっているのて、その延長で一部でも認知してもらえないのではないか
 - プログラムを具体的に半年分決めていく
- ・ 支え合い会議
 - 参加者にP Rに協力してもらう

以上

「みんなの学校」設立準備会 第5回の結果概要

日時：2017年7月22日（土） 10時～12時

場所：浦和スポーツクラブ

参加：西澤、野辺、井上、斉木、千野、奈良、栃川、長島、石井、深水、小川、小野崎

みんなの学校基本構想（たたき）について意見交換を行った。

1. 背景について

特になし

2. 理念について

- ・ 目的は「住んでよかったと思える地域にする」ことを入れると良い
- ・ 「みんなの学校」は、楽しく、優しく、住んでよかったと思える地域を目指すことをい
りたい
- ・ 住んでよかったと思えることを学べる場所であろう
- ・ 入りやすい場所であるべき
- ・ メインをスパッと わかりやすくしたほうがいい
- ・ みんなの学校に集い、学びながらこの地域が楽しく優しく思えることを目指すところ
- ・ 見えるものにしていく
- ・ 継続できるものに

3. 実現のための基本方針

- ・ 1番目は「みんなの学び場」であろう
- ・ 「みんなの活躍の場」をつくることも
- ・ 交流の場や居場所は別ではないか
- ・ 「みんな学」を考え続ける は事業概要にいれてはどうか

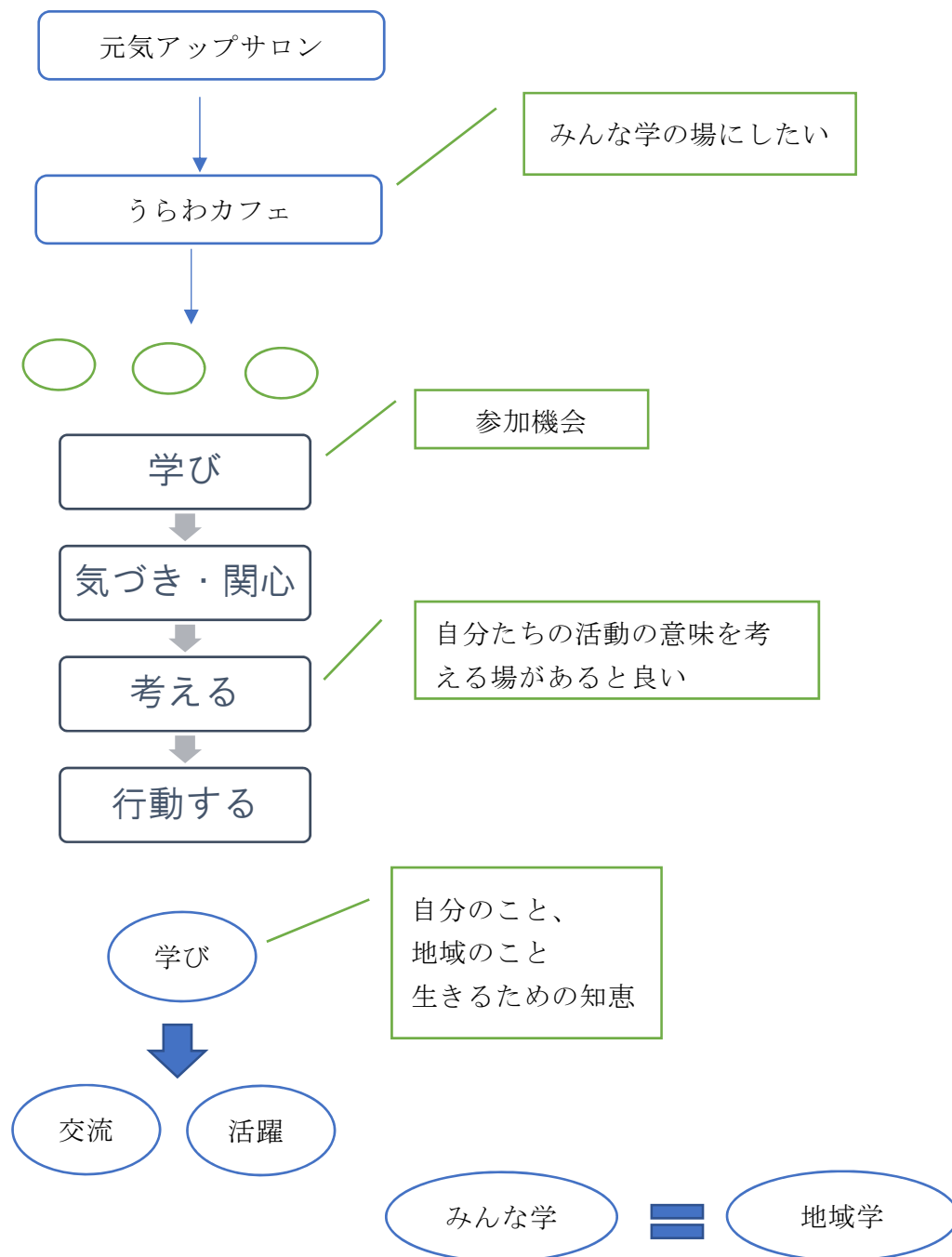
4. 名称

特になし

5. 事業概要

- ・ サロンのための活動に絞ってはどうか
- ・ サロンの担い手がないという課題があったのだから、そこに注力すべきではないか
- ・ 居場所を増やすためにしてはどうか
- ・ サロンのランチとして、身近にあるほうが良い
- ・ 範囲を狭めるとすると、今までの議論の経緯はどうなるのか？
- ・ 地域の活動に声をかけて広げるきっかけにしようということであった
- ・ 元気アップサロンは講師をと受け手に二分されてしまう
- ・ 地域にこだわる考え方、勉強する機会をつくること

- ・ 地域に仲間を増やす
- ・ コミュニケーションができる講座をいれていく
- ・ 潜在的なニーズはたくさんある
- ・ 地域に関わってない人に触れる場所があると良い、これが大事
- ・ 地域の“いいよね”をたくさんつくる



浦和東部地域元気アップネットワーク

「みんなの学校」基本構想（案）

1. 名称

「みんなの学校」

2. 背景

私たちの住む地域は、今でも人口が増えており、子どもも、高齢者もとても多い地域です。文教都市で住みやすい地域であると言われており、引っ越してきてよかったという声も多く聞こえてきます。

しかしながら、近年、近隣同士の交流が著しく減少し、独居老人も増える中、将来が不安だという声が多く聞こえるようになってきました。

さいたま市は、日本でも有数の高齢者の多い地域になると言われています。地域の誰もが安心して過ごせる、つながりや優しさを感じる、住んでよかったと誰もが思える地域づくりが求められています。

3. 基本理念

人は他者との関係の中で生きており、全ての人の安全、安心は私たちの喜びです。

私たちが創る“学校”は、誰も排除せず、誰でも受容し、誰もが尊厳を保証されるところです。

みんなの学校は、地域が楽しく、優しく、住んでよかったと思える場所となることを願う仲間づくりを目指します。

4. 実現のための基本方針

- みんなの学びの場をつくれます
- みんなの活躍の場をつくれます

5. 事業概要

主に、次の事業をおこなっていきます。

○「みんな学」

○複数回シリーズの様々な講座

- 趣味などを含む生涯学習の講座
- ボランティア養成など人材育成のための講習

○教養ゼミ

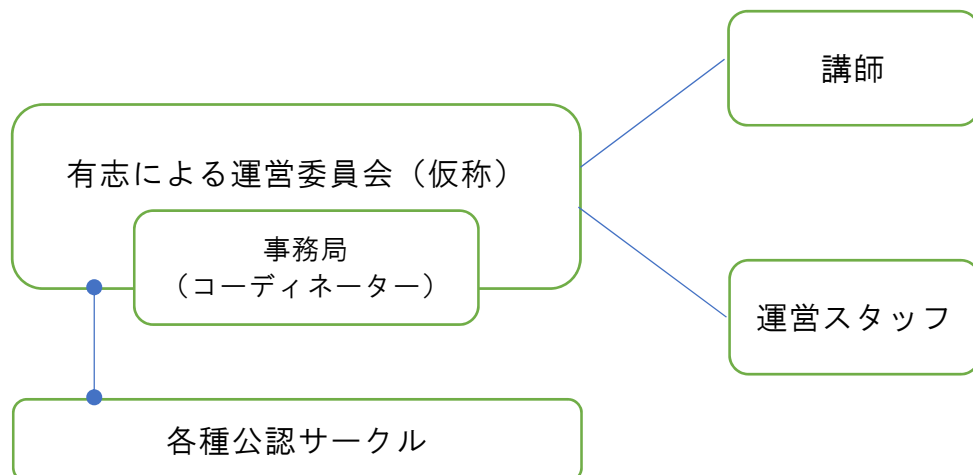
- 地域、福祉などの理念や考え方を学び合う場

○実学・実習の機会としてのサークル活動

6. 入学と退学

入学も退学も自由な学校

7. 組織



公認サークル：活動の一環として、地域に還元する活動を行うこと
例）料理サークル：みんな食堂を年に1回でも実施
絵画サークル：夏休み絵画教室の開催

8. 財源

うらわ学園からの支援
学費（参加費）
商店会などの協賛
自治会などの協力
意思ある寄付

9. 会場（キャンパス・校舎）

うらわ学園
お達者倶楽部
寺社
自治会館
浦和スポーツクラブ など

順次増やしていくが、最終的には本太中学校、木崎中学校、浦和高校などに集約できると良い

10. スケジュール

2017年	7月	基本構想
	10月	基本計画
		開校準備
2018年	4月	開校

以上